

少子高齢社会に対応した都市公園の機能向上手法

(研究期間：平成29年度～平成30年度)



社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室主任研究官 山岸 裕 室長 舟久保 敏

(キーワード) 少子高齢社会、都市公園、子育て支援、高齢化対応健康福祉、集約・再編

1. はじめに

少子高齢化が進行する今日、都市公園においては、特に少子化への対応としての子育て支援機能や高齢化への対応としての健康福祉機能といった社会ニーズの変化に対応した機能を導入することが求められている。本研究は、その際のあり方や直面している課題に対する解決策の方向性についての検討を行い、それら機能の導入手法についての技術資料をとりまとめることを目的としている。

2. 調査内容及び結果

次の①～④に関する都市公園の事例（海外事例を含む）を調査し、内容や実施上の工夫・課題等の整理を行った。

- ①子育て支援機能を備えた事例
- ②高齢化対応健康福祉機能を備えた事例
- ③都市公園のリニューアル・再整備の事例
- ④都市公園の機能分担に伴う集約・再編の事例

以下、①～②の調査でみられた事例の概要について記載する。

(1) 子育て支援機能を備えた事例

保育所^注を設置又は予定している19事例及び保育所設置以外の子育て支援機能を導入している21事例について調査を行った。保育所を設置した事例では、



写真1 屋外時計を設置した保育所の設置事例
(横浜市反町公園)

公園利用の促進として、保育所敷地内に、子育て交流サロン、多目的トイレ、屋上広場、無料カフェ、屋外時計など、保育所施設利用者以外の一般公園利用者や地域住民が利用できる施設をあわせて設けている事例がみられた(写真1)。保育所設置以外の子育て支援機能を導入した事例では、屋内型で子供の遊びや子育て相談・サロン等の様々な支援プログラムが実施可能な拠点施設の新設や既設公園の一角へ乳幼児コーナーを設置している事例がみられた。

(2) 高齢化対応健康福祉機能を備えた事例

高齢化対応健康福祉機能を有する施設整備等のハード面や健康教室の開催等のソフト面の取組を行っている33事例について調査を行った。ハード面の事例では、ジョギングコースや高齢者向けの健康器具等を公園開設時や既設の公園の再整備により設置した事例(写真2)、隣接する医療施設や福祉施設と一体的に総合的な健康づくりを目的として都市公園を整備した事例などがみられた。ソフト面の事例では、前述の健康教室の開催のほか、公園での健康体操の実施、ウォーキングプログラムの実施、公園の特性を生かした高齢者の活動支援等の事例がみられた。



健康遊具配置図 健康遊具の例
写真2 健康遊具の設置事例(都立汐入公園)

3. 成果の活用

これらの調査事例等をもとに、占用許可等の法制度上の位置づけ、適切な都市公園の立地条件、公園施設の条件等、機能導入に際してのポイントや留意点等の整理を行い、国総研資料として公表していく。

注) 平成29年の都市公園法の一部改正により、保育所等の社会福祉施設(通所利用)が都市公園の占用対象として追加された。